

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

届出

静岡県立大学大学院 薬食生命科学総合学府

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

静岡県公立大学法人
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局教育研究推進部企画調整室

職名・氏名 参事 大石忠男

副参事 海野薫代

電話番号 054-264-5106

（夜間） 054-264-5106

F A X 054-264-5099

e-mail tyous@u-shizuoka-ken.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	17
3	施設・設備の整備状況、経費	35
4	既設大学等の状況	37
5	教員組織の状況	39
6	留意事項に対する履行状況等	67
7	その他全般的事項	69

調査対象大学等の概要等

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

静岡県公立大学法人

(2) 大学名

静岡県立大学

(3) 大学の位置

〒422-8526

静岡県静岡市駿河区谷田52-1

(静岡県静岡市駿河区小鹿2-2-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(タケウチ ヒロシ) 竹内 宏 (平成23年4月)	(ホンジョ タスク) 本庶 佑 (平成24年4月)	理事長の交代 (平成24年4月) (24)
学長	(キナエ ナオヒデ) 木苗 直秀 (平成21年3月)		
研究科長	(トヨオカ トシマサ) 豊岡 利正 (平成23年4月)	(コバヤシ ヒロカズ) 小林 裕和 (平成25年4月)	学府長の交代 (平成25年4月) (25)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

<薬食生命科学総合学府 薬学専攻 (博士課程)>

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬食生命科学総合学府 薬学専攻(博士課程) 博士(薬学)	4 年	8 人	32 人	基礎となる学部等 薬学部薬学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	8 (-) [-]	人	8 (-) [-]	人	8 (-) [-]	人	0.41倍 入学定員は社会人、留学生も含めた数であり、分けて設定をしていない	
志願者数	6 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []	4 (1) [-]	() []		
受験者数	5 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []	4 (1) [-]	() []		
合格者数	5 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []	4 (1) [-]	() []		
B 入学者数	5 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []	4 (1) [-]	() []		
入学定員超過率 B/A	0.62		0.12		0.50			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 5	[-] -	[-] 1	[-] -	[-] 4	[-] -	
2年次	[-] -	[-] -	[-] 4	[-] -	[-] 1	[-] -	
3年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] 4	[-] -	
4年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
計	[-] 5	[-] -	[-] 5	[-] -	[-] 9	[-] -	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	5人	1人	平成24年度	1人	0人	就職(1人)	20.0 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	1人	0人	平成25年度	0人	0人		0.0 %
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	4人	0人	平成26年度	0人	0人		0.0 %
合 計	10人	1人					10.0 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

<薬食生命科学総合学府薬科学専攻(博士後期課程)>

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬食生命科学総合学府 薬科学専攻(博士後期課程) 博士(薬科学)	3年	8人	24人	基礎となる学部等 大学院薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 博士前期課程

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	8人	若干名	8人	若干名	8人				1.83倍 入学定員は社会人、留学生も含めた数であり、分けて設定をしていない。 その他の学期として秋期(10月)入学あり	
	(-)		(-)		(-)					
	[-]		[-]		[-]					
志願者数	12 (4) [-]	4 (4) [-]	14 (3) [-]	3 (3) [-]	14 (4) [-]					
受験者数	12 (4) [-]	4 (4) [-]	14 (3) [-]	3 (3) [-]	14 (4) [-]					
合格者数	12 (4) [-]	4 (4) [-]	14 (3) [-]	3 (3) [-]	13 (4) [-]					
B 入学者数	12 (4) [-]	4 (4) [-]	12 (3) [-]	3 (3) [-]	13 (4) [-]					
入学定員超過率 B/A	2.00		1.87		1.62					

- (注)・数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 12	[-] -	[-] 12	[-] 4	[-] 13	[-] 3	
2年次	[-] -	[-] -	[-] 12	[-] -	[-] 11	[-] 4	
3年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] 9	[-] -	
計	[-] 12	[-] -	[-] 28	[-] -	[-] 40	[-] -	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	16 人	3 人	平成24年度	人	人	就職(3人)	18.8 %
			平成25年度	3 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	15 人	1 人	平成25年度	1 人	0 人	他の教育機関への転学(1人)	6.7 %
			平成26年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	13 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	44 人	4 人					9.1 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻(博士後期課程) 博士(食品栄養科学)	3年	10人	30人	基礎となる学部等 大学院薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻 博士前期課程

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	10人 () []	若干名	10人 () []	若干名	10人 () []	若干名	0.3倍 入学定員は社会人、留学生も含めた数分けて設定をしていない。その他の学期として秋期(10月)入学あり	
志願者数	6 (-) [1]	1 (-) [0]	1 (-) [0]	1 (-) [0]	0 (-) [0]	0 (-) []		
受験者数	6 (-) [1]	1 (-) [0]	1 (-) [0]	1 (-) [0]	0 (-) [0]	0 (-) []		
合格者数	6 (-) [1]	1 (-) [0]	1 (-) [0]	1 (-) [0]	0 (-) [0]	0 (-) []		
B 入学者数	6 (-) [1]	1 (-) [0]	1 (-) [0]	1 (-) [0]	0 (-) [0]	0 (-) []		
入学定員超過率 B/A	0.7		0.2		0			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (0)書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 6	[0] 1	[0] 1	[0] 1	[0] 0	[0] 0			
2年次	[-] -	[-] -	[1] 6	[0] 1	[0] 1	[0] 1			
3年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[1] 5	[0] 0			
計	[1] 7		[1] 9		[1] 7				

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者 数の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年 度 入学者	人	人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年 度 入学者	7人	2人	平成24年度	人	人	就職、進路変更	28.6% %
			平成25年度	2人	0人		
			平成26年度	人	人		
平成25年 度 入学者	2人	0人	平成25年度	人	人		0 %
			平成26年度	人	人		
平成26年 度 入学者	0人	0人	平成26年度	0人	0人		#DIV/0! %
合計	9人	2人					22.2% %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要ありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入して、

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

1 環境科学専攻 (博士後期課程)

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合 (平成26年度までの3年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称 (学位)	修業年限	設置時の計画		備考
		入学定員	収容定員	
薬食生命科学総合学府 環境科学専攻 (博士後期課程) 博士 (環境科学)	3年	7人	21人	基礎となる学部等 大学院薬食生命科学総合学府 環境科学専攻博士前期課程

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	7人 () []	若干名	7人 () []	若干名	7人 () []	若干名	0.32倍 入学定員は社会人、留學も含めた数 分けて設定をしていない。 その他の学期として秋期(10月)入学あり。	
志願者数	4 (2) [1]	1 (0) [0]	3 (0) [1]	0 (-) [-]	2 (0) [2]	- (-) [-]		
受験者数	3 (2) [0]	0 (0) [0]	3 (0) [1]	0 (-) [-]	2 (0) [2]	- (-) [-]		
合格者数	3 (2) [0]	0 (0) [0]	3 (0) [1]	0 (-) [-]	2 (0) [2]	- (-) [-]		
B 入学者数	3 (2) [0]	0 (0) [0]	2 (0) [1]	0 (-) [-]	2 (0) [2]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.42		0.28		0.28			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 届出書において費学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] 3	[0] 0	[1] 2	[0] 0	[2] 2	[0] 0	
2年次	/		[0] 3	[0] 0	[1] 2	[0] 0	
3年次			/		[0] 3	[0] 0	
計	[0] 3	[1] 5			[3] 7		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者 数の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	3人	0人	平成24年度	0人	0人		0 %
			平成25年度	0人	0人		
			平成26年度	0人	0人		
平成25年度 入学者	2人	0人	平成25年度	0人	0人		0 %
			平成26年度	0人	0人		
平成26年度 入学者	2人	0人	平成26年度	0人	0人		0 %
合計	7人	0人					0 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要ありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

<薬食生命科学総合学府薬食生命科学専攻(博士後期課程)>

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬食生命科学総合学府 薬食生命科学専攻 (博士後期課程) 博士(薬食生命科学、 生命薬科学)	3年	5人	15人	基礎となる学部等 大学院薬食生命科学総合学府 薬科学専攻博士前期課程 大学院薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻博士前期 課程

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	5人 (-) [-]		5人 (-) [-]		5人 (-) [-]		1.20倍 入学定員は社会人、留学生も 含めた数であり、分けて設定 をしていない	
志願者数	7 (-) [-]	3 (2) [-]	6 (-) [-]		3 (-) [-]			
受験者数	7 (-) [-]	3 (2) [-]	6 (-) [-]		3 (-) [-]			
合格者数	7 (-) [-]	3 (2) [-]	6 (-) [-]		3 (-) [-]			
B 入学者数	6 (-) [-]	3 (2) [-]	6 (-) [-]		3 (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.80		1.20		0.60			

- (注)・数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入して
 ください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる
 「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)
 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を
 記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている
 場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入して
 ください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して
 ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 6	[-] -	[-] 6	[-] 3	[1] 3	[-] 3			
2年次	[-] -	[-] -	[-] 6	[-] -	[-] 6	[-] -			
3年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] 5	[-] -			
計	[-] 6	[-] -	[-] 15	[-] -	[1] 17	[-] -			

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	人	人	平成23年度	人	人		#DIV/0! %
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	9人	1人	平成24年度	人	人		11.1 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	1人	0人		
平成25年度 入学者	6人	0人	平成25年度	0人	0人		0.0 %
			平成26年度	0人	0人		
平成26年度 入学者	3人	0人	平成26年度	0人	0人		0.0 %
合計	18人	1人					5.6 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

授業科目の概要

2 授業科目の概要

<薬食生命科学総合学府薬学専攻（博士課程）医療薬学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	先端医療薬学特論	1・2・3	2			3	2 -3	1	-3	2	-4 3	昇任に伴う変更(24) 退職、昇任に伴う変更(26) 兼18 19-18 (25) 採用、退職に伴う変更 兼28 27-29 採用、退職、昇任、担当科 目変更に伴う変更(26) 兼30 29-31 昇任に伴う変更 (24) 兼30 29-31
	薬学セミナー	1~4通	4			3						
	医療薬学演習	1~4通	6			3	2 -3	1	-3	2	-4 3	
	医療薬学特別実験	1~4通	12			3	2 -3	1	-3	2	-4 3	
	医療薬学特別演習	1~4通	4			3	2 -3	1	-1	-1		
選択科目	糖鎖生化学特論	1・2・3・4前		1								兼4 3 准教授1名退職に伴う変更 (25)
	薬物代謝・毒性学特論	1・2・3・4前		1								兼3
	分子薬理学特論	1・2・3・4前		1								兼4
	薬物送達学特論	1・2・3・4前		1								兼4
	病態分子分析学特論	1・2・3・4前		1								兼4
	薬物動態学特論	1・2・3・4前		1								兼-3 2 助教1名退職に伴う変更(25)
	薬物放出制御学特論	1・2・3・4前		1								兼3
	神経内分泌機能解析学特論	1・2・3・4前		1								兼-3 4 教員担当科目変更に伴う変更 (26)
	免疫微生物学特論	1・2・3・4前		1								兼-4 3 准教授1名退職に伴う変更(26)
	創薬探索学特論	1・2・3・4前		1								兼-4 -3 4 講師1名退職に伴う変更(24) 講師1名採用に伴う変更(25)
生薬漢方薬学特論	1・2・3・4前		1								兼-4 3 助教1名退職に伴う変更(26)	
自由選択科目	健康長寿科学特論	1~4			1							兼-13 12 准教授1名退職に伴う変更 (25)
	食品科学特論II	1~4			2							兼-10 -9-10 教授1名退職に伴う変更(25) 教授1名採用に伴う変更(26)
	栄養科学特論II	1~4			2							兼9
	人類遺伝学特論II	1~4			1							兼1
	遺伝学特論	1~4			1							兼4
	科学英語：オーラルコミュニケーションI	1~4			1							兼1
	科学英語：オーラルコミュニケーションII	1~4			1							兼1
	科学英語：インデペンデント・リスニング	1~4			1							兼1
	科学英語：アカデミック・プレゼンテーション	1~4			1							兼1
	科学英語：アカデミック・ライティング	1~4			1							兼1
	科学英語海外研修プログラム	1~4			2							兼1
	科学英語：学生主導型ディスカッション-I	1~4			1							兼1 科目名称の変更(26)
	科学英語：学生主導型ディスカッション-II メールグループディスカッション	1~4			1							兼1 科目名称の変更(26)
科学英語：科学論文の「ライティング」	1~4			1							兼1 教育課程の充実を図るため科 目を増加(26)	

- (注) ・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成25年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 5	科目 11	科目 13	科目 29	科目 5 [0]	科目 11 [0]	科目 14 [1]	科目 30 [1]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

—

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<薬食生命科学総合学府薬学専攻（博士課程）臨床薬学コース>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	先端臨床薬学特論1	1・2・3	2			2	1	-3 2	-1 2		退職、採用に伴う変更(26) 担当科目変更に伴う変更(26) 退職、採用に伴う変更(26) 届出時の誤記(24)	
	先端臨床薬学特論2	1・2・3	2			-1 2		-1				
	臨床薬学演習	1~4通	6			3	1	-4 2	-2 3	兼1		
	臨床薬学実習	1~4通	4			3	1	-4 2	-2 3	兼1		
	臨床薬学特別実験	1~4通	12			3	1	-4 2	-2 3	兼7 -8-7		
	臨床薬学特別演習	1~4通	4			3	1	1		兼3		
選択科目												
自由選択科目	健康長寿科学特論	1・2・3・4前			1						兼13 12	オムニバス 准教授1名退職に伴う変更(25)
	食品科学特論II	1・2・3・4前			2						兼10 -9 10	オムニバス 教授1名退職に伴う変更(25) 教授1名採用に伴う変更(26)
	栄養科学特論II	1・2・3・4前			2						兼9	オムニバス
	人類遺伝学特論II	1・2・3・4前			1						兼1	
	遺伝学特論	1・2・3・4前			1	1					兼3	
	科学英語：オーラルコミュニケーションI	1・2・3・4前			1						兼1	
	科学英語：オーラルコミュニケーションII	1・2・3・4前 後			1						兼1	届出時の誤記(24)
	科学英語：インデペンデント・リスニング	1・2・3・4前			1						兼1	
	科学英語：アカデミック・プレゼンテーション	1・2・3・4前			1						兼1	
	科学英語：アカデミック・ライティング	1・2・3・4前			1						兼1	
	科学英語海外研修プログラム	1・2・3・4前			2						兼1	
	科学英語：学生主導型ディスカッションI	1・2・3・4前			1						兼1	科目名称の変更(26)
	科学英語：学生主導型ディスカッションII スモールグループディスカッション	1・2・3・4前 後			1						兼1	届出時の誤記(24) 科目名称の変更(26)
	科学英語：科学論文英文ライティング	1・2・3・4後			1						兼1	教育課程の充実を図るため科目を増加(26)

- (注) ・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成24年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 0	科目 13	科目 19	科目 6	科目 0	科目 14	科目 20	
				[0]	[0]	[1]	[1]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

< 薬食生命科学総合学府薬科学専攻（博士後期課程） >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	先端薬科学特別演習・実験	1~3通	6			-7 -8 -9 10	10 -9 8	-9 -8 9	-9 10 11		兼40 38-33 演習 昇任、採用、退職に伴う変更(24) 昇任、採用、退職に伴う変更(25) 昇任、採用、退職に伴う変更(26)
選択科目											
自由選択科目	健康長寿科学特論	1・2・3前			1						兼13 12 オムニバス 准教授1名退職に伴う変更(25)
	食品科学特論II	1・2・3前			2						兼10 9 10 オムニバス 教授1名退職に伴う変更(25) 教授1名採用に伴う変更(26)
	栄養科学特論II	1・2・3前			2						兼9 オムニバス
	人類遺伝学特論II	1・2・3前			1						兼1
	遺伝学特論	1・2・3前			1						兼4
	科学英語：オーラルコミュニケーションI	1・2・3前			1			1			兼1
	科学英語：オーラルコミュニケーションII	1・2・3前後			1			1			兼1 配当年次: 届出時の誤記(24)
	科学英語：インデペンデント・リスニング	1・2・3前			1			1			兼1 担当教員が特任 准教授から講師 として採用された ことに伴い兼任 から専任に変更 (24)
	科学英語：アカデミック・プレゼンテーション	1・2・3前			1			1			兼1
	科学英語：アカデミック・ライティング	1・2・3前			1			1			兼1
	科学英語海外研修プログラム	1・2・3前			2						兼1
	科学英語：学生主導型ディスカッションI	1・2・3前			1			1			兼1 同上(24) 科目名称の 変更(26)
	科学英語：学生主導型ディスカッションII スモールグループディスカッション	1・2・3前後			1			1			兼1 配当年次: 届出時の誤記(24)
科学英語：科学論文英語ライティング	1・2・3後			1			1			兼1 教育課程の充実を図る ため科目を増加(26)	

- (注) ・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 0	科目 13	科目 14	科目 1 [0]	科目 0 [0]	科目 14 [1]	科目 15 [1]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

< 薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻 (博士後期課程) >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
選択	科学英語: モーニングセミナーⅠ	1・2・3前		1								英1	
	科学英語: モーニングセミナーⅡ	1・2・3後		1								英1	
	科学英語: (イ)プレゼンテーションⅠ	1・2・3前		1								英1	
	科学英語: (ア)プレゼンテーション	1・2・3前		1								英1	
	科学英語: (ア)プレゼンテーション	1・2・3前		1								英1	
	科学英語: 学生主導型プレゼンテーションⅠ 学生主導型プレゼンテーション	1・2・3前		1								英1 教育課程の充実を図るため、科目の名称を変更(注)	
	科学英語: 学生主導型プレゼンテーションⅡ 学生主導型プレゼンテーション	1・2・3後		1								英1 教育課程の充実を図るため、科目の名称を変更(注)	
	科学英語: 科学論文の執筆	1・2・3後		1								英1 教育課程の充実を図るため、科目を増加(注)	
	科学英語海外研修プログラム	1・2・3前		1 2								英1 教育課程の充実を図るため、単位数を増加(注)	
	健康長寿科学特論Ⅰ	1・2・3前		1								英13 付録2	
健康長寿科学特論Ⅱ	1・2・3後		1								英13 付録2		
フロンティア科学特論Ⅲ	1・2・3前		1								教育課程の充実を図るため科目を追加(注) 担当 三木学(出 大、静岡大、 東海大学)准教授 兼、担当教員は2 月に決定。		
フロンティア科学特論Ⅳ	1・2・3後		1								教育課程の充実を図るため科目を追加(注) 担当 三木学(出 大、静岡大、 東海大学)准教授 兼、担当教員は2 月に決定。		
必修	食品栄養科学特別演習Ⅱ	1~3通	4			6 5 6	9 10	2 1		17 15 18 19	英5	他専任教員、毎月 1名助教の追加の ため教員を追加 (注) 担当 三浦通司 (准教授) 林久由 (講師) 平成23年 3月担当教員(教 員)の追加、指導 体制の充実を図る ため助教の採用 (注)指導体制の充 実を図るため教授 及び助教の採用、 課外から専任教員 に昇格(注)	
選択	食品栄養科学特別演習Ⅲ	1~3通		1 2		6 5 6	9 10	2 1		17 15 18 19	英5	他専任教員、毎月 1名助教の追加の ため教員を追加 (注) 担当 三浦通司 (准教授) 林久由 (講師) 平成23年 3月担当教員(教 員)の追加、指導 体制の充実を図る ため助教の採用 (注)指導体制の充 実を図るため教授 及び助教の採用、 課外から専任教員 に昇格(注)	
	臨床栄養ニキスパート演習	1~3通		1 2							英1	教育課程の充実 を図るため、単位 数を増加(注)	
	薬理学特論	1・2・3前		1 2							英4 英5	教育課程の充実 を図るため、平成 24年8月担当教員 1名の追加(注)	
	遺伝学特論	1・2・3前		1							英4		
自由 選択	静岡地域食文化	1・2・3後			2	1					1	英1	教育課程の充実 を図るため自由選 択科目を追加(注)
	茶学入門	1・2・3後			2							英1	
	バイオ-静岡から世界へ	1・2・3前			2	1	1				1	英1	
	イノベーション原理特論	1・2・3前			2							英1	
	東南アジア文化特論	1・2・3前			2							英1	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合
 には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 ・ 「記号年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 14	科目 0	科目 15	科目 1	科目 17	科目 5	科目 23	
				[0]	[3]	[5]	[8]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

—

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

< 環境生命科学総合学府 環境科学専攻（博士後期課程） >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
選択	科学英語：イノベーションⅠ	1・2・3前		1									兼1
	科学英語：イノベーションⅡ	1・2・3後		1									兼1
	科学英語：イノベーション・イノベーション	1・2・3前		1									兼1
	科学英語：737'イノベーション	1・2・3前 前・後		1									兼1
	科学英語：737'イノベーション	1・2・3前 前・後		1									兼1
	科学英語：学術英語Ⅰ（基礎） 学術英語Ⅱ（応用）	1・2・3前		1									兼1
	科学英語：学術英語Ⅰ（基礎） 学術英語Ⅱ（応用）	1・2・3後		1									兼1
	科学英語：科学論文の読解	1・2・3後		1									兼1
	科学英語海外研修プログラム	1・2・3前 通		4 2									兼1
	健康長寿科学特論Ⅰ	1・2・3前			1								兼13
	健康長寿科学特論Ⅱ	1・2・3後			1								兼13
	フロンティア科学特論Ⅲ	1・2・3前			1								兼13
	フロンティア科学特論Ⅳ	1・2・3後			1								兼13
必修	環境科学特別演習Ⅰ	1~3通	4			6 8 5	5			13 11 12 10			専攻名の変更（「環境物産科学専攻」→「環境科学専攻」）に合わせて科目名を変更。完成年度以前に退職予定の教授2名を追加。平成24年3月助教2名が退職。(24) 担当 坂口真人（教授）、国包一（教授）平成25年3月担当教授坂口真人教授、国包一教授、岩堀恵祐教授退職。平成25年4月保田倫子助教採用。(25)平成25年3月担当教授岩堀恵祐教授退職平成25年3月担当教授岩堀恵祐教授退職。平成26年2月担当助教岩堀恵祐助教退職。専攻正統助教退職(26)
	環境科学特別演習Ⅱ	1~3通	4 2			6 8 5	5			13 11 12 10			専攻名の変更（「環境物産科学専攻」→「環境科学専攻」）に合わせて科目名を変更。完成年度以前に退職予定の教授2名を追加。平成24年3月助教2名が退職。(24) 担当 坂口真人（教授）、国包一（教授）平成25年3月坂口真人教授、国包一教授、岩堀恵祐教授退職。平成25年4月保田倫子助教採用。(25)平成25年3月担当教授岩堀恵祐教授退職平成25年3月担当教授岩堀恵祐教授退職。平成26年2月担当助教岩堀恵祐助教退職。専攻正統助教退職(26)
選択	論文特論	1・2・3前		1		2						兼2	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成25年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
1	12	0	13	1	15	0	16	
				[0]	[3]	[0]	[3]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に違っているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

—

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<薬食生命科学総合学府薬食生命科学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	薬食生命科学特別実験	1~3通	6			-8 -9 10	-5 -4 2	-3 4	-7 -5 4		昇任、退職に伴う変更(25) 昇任、退職、採用に伴う変更(26) オムニバス 昇任、退職に伴う変更(25) 昇任、退職に伴う変更(26)
	健康長寿科学特論	1・2・3前	1			-8 -9 10	-5 -3 1	1			
選択科目	薬剤学特論	1・2・3前		2		1	-1		-2 1		兼3 退職に伴う変更(25) 昇任に伴う変更(26)
	食品科学特論II	1・2・3前		2		2 3	1 0				兼7 兼6 兼7 オムニバス 昇任、退職に伴う変更(25) 採用に伴う変更(26)
	栄養科学特論II	1・2・3前		2		2					兼7 オムニバス
	人類遺伝学特論II	1・2・3前		1		1	1 0				昇任に伴う変更(25)
	遺伝学特論	1・2・3前		1		1 2	1 0				兼2 昇任に伴う変更(25)
	高齢者疾患予防学演習	1~3通		2		4	1	-1 2	3 2		兼1 昇任、退職に伴う変更(25) 昇任、採用、担当科目変更に伴う変更(26)
	薬食機能開発演習	1~3通		2		3	-2 1	2	-2 1		退職に伴う変更(26)
	臨床栄養薬物学演習	1~3通		2		-1 -2 3	-2 -1		2 1		兼4 昇任、退職に伴う変更(25) 昇任に伴う変更(25)
自由選択科目	臨床栄養エキスパート演習	1・2・3前			2	1					
	科学英語：オーラルコミュニケーションI	1・2・3前			1						兼1
	科学英語：オーラルコミュニケーションII	1・2・3前後			1						兼1 届出時の誤記(24)
	科学英語：インデペンデント・リスニング	1・2・3前			1						兼1
	科学英語：アカデミック・プレゼンテーション	1・2・3前			1						兼1
	科学英語：アカデミック・ライティング	1・2・3前			1						兼1
	科学英語海外研修プログラム	1・2・3前			2						兼1
	科学英語：学生主導型ディスカッションI	1・2・3前			1						兼1 科目名称の変更(26)
	科学英語：学生主導型ディスカッションII スモールグループディスカッション	1・2・3前後			1						兼1 届出時の誤記(24) 科目名称の変更(26)
	科学英語：科学論文の行い方	1・2・3後			1						兼1 教育課程の充実を図るため科目を増加(26)

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 8	科目 9	科目 19	科目 2	科目 8	科目 10	科目 20	
				[0]	[0]	[1]	[1]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に違っているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

—

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

施設・設備の整備状況、経費

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	176,772.82㎡	㎡	㎡	176,772.82㎡			
	運動場用地	6,576.27㎡	㎡	㎡	6,576.82㎡			
	小 計	183,459.09㎡	㎡	㎡	183,459.09㎡			
	そ の 他	3,329.08㎡	㎡	㎡	3,329.08㎡			
	合 計	186,678.17㎡	㎡	㎡	186,678.17㎡			
(2) 校舎	専 用	68,194.26㎡	㎡	㎡	68,194.26㎡	大学全体		
	(68,194.26㎡)	(㎡)	(㎡)	(68,194.26㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	49室	17室	47室	10室 (補助職員一人)	3室 (補助職員 2人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		届出研究科全体		
	薬食生命科学総合学府			259 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕		〔うち外国書〕	点	点	点
	薬食生命科学総合学府	53,306 [7,876] (48,301 [7,639])	788 [172] (788 [172])	5 [5] (5 [5])	995 (656)	— (—)	— (—)	
	計	53,306 [7,876] (48,301 [7,639])	788 [172] (788 [172])	5 [5] (5 [5])	995 (656)	— (—)	— (—)	
(6) 図書館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	5,996.21㎡	486席		約500,000冊				
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	4649.07㎡	テニスコート8面 5808㎡						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出研究科全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員 1人当り研究費等	470千円	465千円	図書購入費	6,040千円	6,040千円	
	共同研究費等	40,000千円	40,000千円	設備購入費	1,400千円	1,400千円	1,400千円	
	学生 1人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		902千円	536千円	536千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

既設大学等の状況

4 既設大学等の状況

大学の名称		静岡県立大学						備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
薬学部									
薬学科	6	80	—	480	学士(薬学)	1.06	平成18年度	静岡県静岡市駿河区谷田5-1	
薬科学科	4	40	—	160	学士(薬学)	1.06	平成18年度		
食品栄養科学部									
食品生命科学科	4	25	—	100	学士(食品栄養科学)	1.26	昭和62年度		
栄養生命科学科	4	25	—	100	学士(食品栄養科学)	1.11	昭和62年度		
環境生命科学科	4	20	—	80	学士(食品栄養科学)	1.20	平成26年度		平成26年度より設置
国際関係学部									
国際関係学科	4	60	—	240	学士(国際関係学)	1.15	昭和62年度		
国際言語文化学科	4	120	—	480	学士(国際言語文化学)	1.10	昭和62年度		
経営情報学部									
経営情報学科	4	100	—	400	学士(経営情報学)	1.07	昭和62年度		
看護学部									
看護学科	4	55 120	3年次 10人	240 305	学士(看護学)	1.00	平成9年度		平成26年度より定員増(26)
(修士課程)									
薬学研究科									
薬科学専攻	2	—	—	—	修士(薬科学)	—	平成18年度		平成23年より学生募集停止
生活健康科学研究科									
食品栄養科学専攻	2	—	—	—	修士(食品栄養科学)	—	平成3年度		平成23年より学生募集停止
環境物質科学専攻	2	—	—	—	修士(環境科学)	—	平成3年度		
薬食生命科学総合学府									
薬科学専攻	2	30	—	60	修士(薬科学)	1.38	平成24年度		
食品栄養科学専攻	2	25	—	50	修士(食品栄養科学)	1.06	平成24年度		
環境科学専攻	2	20	—	40	修士(環境科学)	0.57	平成24年度		
国際関係学研究科									
国際関係学専攻	2	5	—	10	修士(国際関係)	1.30	平成3年度		
比較文化専攻	2	5	—	10	修士(比較文化)	1.00	平成3年度		
経営情報学研究科									
経営情報学専攻	2	—	—	—	修士(経営情報学)	—	平成10年度		平成23年より学生募集停止
経営情報イノベーション研究科									
経営情報イノベーション専攻	2	10	—	20	修士(経営情報学)	0.90	平成23年度		
看護学研究科									
看護学専攻	2	16	—	32	修士(看護学)	0.65	平成13年度		
(博士後期課程)									
薬学研究科									
薬学専攻	3	—	—	—	博士(薬学)	—	昭和63年度		博士後期課程の薬学専攻、製薬学専攻、医療薬学専攻については、平成23年から学生募集停止
製薬学専攻	3	—	—	—	博士(薬学)	—	昭和63年度		
医療薬学専攻	3	—	—	—	博士(医療薬学)	—	平成14年度		
生活科学研究科									
食品栄養科学専攻	3	—	—	—	博士(食品栄養科学)	—	平成7年度		
環境物質科学専攻	3	—	—	—	博士(環境科学)	—	平成7年度		
薬食生命科学総合学府									
薬学専攻	4	8	—	32	博士(薬学)	0.41	平成24年度		
薬科学専攻	3	8	—	24	博士(薬食生命科学) 博士(生命薬科学)	1.83	平成24年度		
薬食生命科学専攻	3	5	—	15	博士(薬科学)	1.20	平成24年度		
食品栄養科学専攻	3	10	—	30	博士(食品栄養科学)	0.30	平成24年度		
環境科学専攻	3	7	—	21	博士(環境科学)	0.32	平成24年度		
経営情報イノベーション研究科									
経営情報イノベーション専攻	3	3	—	9	博士(経営情報学) 博士(学振)	1.11	平成23年度		

大学の名称 静岡県立大学短期大学部										備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地			
	年	人	年次人	人		倍					
看護学科	3	80	—	240	短期大学士(看護学)	1.03	平成9年度	静岡県静岡市 駿河区小鹿二丁目2番1号	看護学科 平成26年より 学生募集停止		
歯科衛生学科	3	40	—	160	短期大学士(歯科衛生学)	1.07	平成9年度				
社会福祉学科 (社会福祉専攻)	2	50	—	100	短期大学士(社会福祉学)	1.22	平成9年度				
(介護福祉専攻)	2	50	—	100	短期大学士(社会福祉学)	0.79	平成9年度				

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成26年5月1日現在の状況を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません)
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

教員組織の状況

5 教員組織の状況

<薬食生命科学総合学府 薬学専攻 (博士課程) 医療薬学コース>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	森本 達也 (45)	平成24年4月	先端医療薬学特論 薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
専任	教授	菅谷 純子 (61)	平成24年4月	先端医療薬学特論 薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
専任	教授	並木 徳之 (56)	平成24年4月	先端医療薬学特論 薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
専任	准教授	五十里 彰 (40)	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	専任	講師	山崎 泰広 (41)	平成26年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	平成25年9月五十里准教授退職。平成26年4月同じ研究室の山崎助教が講師に昇格し、後任として就任(26)
専任	准教授	上村 和秀 (41)	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習			後任未定			平成26年3月上村准教授退職。後任は26年度前期に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
専任	講師	石井 康子 (58)	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験						
専任	講師	内田 信也 (43)	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	専任	准教授	内田 信也 (43)	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	平成23年10月昇任(24)
専任	講師	加藤 安宏 (40)	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験			後任は26年8月採用予定			平成25年9月加藤講師退職。後任は26年8月採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
専任	助教	刀坂 泰史 (31)	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験						
専任	助教	山崎 泰広 (39)	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験			後任未定			平成26年4月、講師に昇格し五十里准教授の後任に就任。後任は26年度中に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
専任	助教	平川 城太郎 (28)	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験	専任	助教	山口 賢彦 (27)	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験	平成23年12月平川助教退職。平成24年4月後任として山口助教採用(24)
専任	助教	田中 紫葉子 (27)	平成24年4月	先端医療薬学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験						
兼任	教授	鈴木 隆 (56)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 糖鎖生化学特論 健康長寿科学特論※						
兼任	教授	石川 智久 (51)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 分子薬理学特論						
兼任	教授	奥 直人 (59)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物送達学特論 健康長寿科学特論※						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	豊岡 利正 (60)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 病態分子分析学特論						
兼任	教授	菅 敬幸 (48)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
兼任	教授	野口 博司 (61)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 生薬漢方薬学特論 健康長寿科学特論※						
兼任	教授	板井 茂 (59)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物放出制御学特論						
兼任	教授	賀川 善之 (52)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
兼任	教授	伊藤 邦彦 (51)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 遺伝学特論						
兼任	教授	山田 浩 (55)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
兼任	教授	眞鍋 敬 (46)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
兼任	教授	赤井 周司 (52)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	兼任	教授	濱島 義隆 (37)	平成25年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	平成25年3月赤井周司教授退職 学府内別研究室の濱島准教授が平成25年4月後任として就任(25)
兼任	教授	今井 康之 (57)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 免疫微生物学特論 健康長寿科学特論※						
兼任	教授	浅井 章良 (48)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 創薬探索学特論						
					兼任	教授	橋本 博 (41)	平成25年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	平成24年3月に定年退職した教授の後任として平成25年4月採用(25)
					兼任	教授	吉成 浩一 (43)	平成26年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物代謝・毒理学特論	平成26年3月に定年退職した教授の後任として平成26年4月採用(26)
兼任	教授	中山 勉 (57)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※	兼任	教授	後任未定 下山田 真 (50)	平成26年4月	食品科学特論Ⅱ※	平成25年3月中山勉教授退職(25) 平成26年4月下山田真教授採用(26)
兼任	教授	熊澤 茂則 (49)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	大橋 典男 (53)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼任	教授	渡辺 達夫 (55)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	丹治 健一 (57)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	小林 裕和 (57)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 遺伝学特論						
兼任	教授	合田 敏尚 (56)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	熊谷 裕通(57)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	大島 寛史(62)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼任	教授	新井 映子(56)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	吉村 紀子(63)	平成24年4月	科学英語海外研修プログラム	兼任	特任教授	吉村 紀子(65)	平成26年4月	科学英語海外研修プログラム	平成26年3月吉村教授定年退職。平成26年4月から特任教授として採用(26)
兼任	准教授	左 一八(49)	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 糖鎖生化学特論 健康長寿科学特論※	兼任	講師	後任未定 高橋 忠伸(37)	平成25年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 糖鎖生化学特論 健康長寿科学特論※	平成25年3月左一八准教授退職(25) 平成25年4月同じ研究室の高橋助教が講師に昇格し、後任として就任(26) ※25年度報告漏れ
兼任	准教授	高木 邦明(55)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物代謝・毒理学特論			後任未定			平成25年9月高木准教授退職。後任の採用計画は未定だが、担当科目は平成26年4月に採用された同じ研究室の吉成教授等が担当するため支障なし(26)
兼任	准教授	根本 清光(53)	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物代謝・毒理学特論						
兼任	准教授	斎藤 真也(46)	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 分子薬理学特論						
兼任	准教授	武田 厚司(56)	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物送達学特論	兼任	教授	武田 厚司(56)	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物送達学特論 薬学セミナー 神経内分泌機能解析学特論	平成24年4月昇任(25) ※24年度報告漏れ 担当科目の変更(26)
兼任	准教授	轟木 堅一郎(38)	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 病態分子分析学特論						
兼任	准教授	濱島 義隆(37)	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	兼任	准教授	後任未定 江木 正浩(42)	平成25年10月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	平成25年4月学府内別研究室の教授に就任(25) 平成25年10月、学府内別研究室の江木講師が後任として就任(26)
兼任	准教授	波辺 賢二(42)	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 生薬漢方薬学特論 健康長寿科学特論※						
兼任	准教授	尾上 誠良(38)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物動態学特論 健康長寿科学特論※	兼任	教授	尾上 誠良(40)	平成26年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物動態学特論 健康長寿科学特論※	平成26年3月に定年退職した同じ研究室の教授の後任として平成26年4月教授に昇格(26)
兼任	准教授	野口 修治(45)	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 薬物放出制御学特論						
兼任	准教授	宮岩 靖則(48)	平成24年4月	医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
兼任	准教授	石川 吉伸(44)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	兼任	准教授	石川 吉伸(44)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	担当科目の変更(26)
兼任	准教授	海野 けい子(58)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 神経内分泌機能解析学特論	兼任	准教授	海野 けい子(58)	平成24年4月	薬学セミナー 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 神経内分泌機能解析学特論	担当科目の変更(26)
兼任	准教授	川島 博人(46)	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 免疫微生物学特論 健康長寿科学特論※			後任未定			平成26年4月川島准教授退職。後任は26年度中に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
兼任	准教授	澤田 潤一(42)	平成24年4月	医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習 創薬探索学特論						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	増田 修一 (43)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	齋 信学 (36)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	河原崎 泰晶 (42)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	小林 公子 (51)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 遺伝学特論	兼任	教授	小林 公子 (51)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 人類遺伝学特論Ⅱ 遺伝学特論	届出時記載漏れ(24) 平成25年4月1日 教授に昇任(25)
兼任	准教授	桑野 稔子 (49)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	市川 陽子 (46)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	新井 英一 (40)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	栗木 清典 (41)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	特任教授	飯田 浩 (68)	平成24年4月	遺伝学特論						
兼任	特任准教授	ホーク フィリップ (44)	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	兼任	講師	ホーク フィリップ (44)	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII 科学英語：学生主導型ディスカッションIII 科学英語：学生主導型ディスカッションIV 科学英語：科学論文エディティング	平成24年4月 特任准教授から講師として採用(24) 担当科目の名称変更、教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
兼任	講師	関本 征史 (40)	平成24年4月	薬物代謝・毒性学特論						
兼任	講師	小原 一男 (61)	平成24年4月	分子薬理学特論						
兼任	講師	浅井 知浩 (37)	平成24年4月	薬物送達学特論	兼任	准教授	浅井 知浩 (37)	平成24年4月	薬物送達学特論 医療薬学演習 医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	平成25年4月昇任(25) 担当科目の変更(26)
兼任	講師	梅原 薫 (50)	平成24年4月	生薬漢方薬学特論						
兼任	講師	井上 和幸 (39)	平成24年4月	医療薬学特別実験 医療薬学特別演習						
兼任	講師	井口 和明 (55)	平成24年4月	神経内分泌機能解析学特論						
兼任	講師	三宅 正紀 (45)	平成24年4月	免疫微生物学特論						
兼任	講師	松野 研司 (44)	平成24年4月	創薬探索学特論	兼任	講師	後任未定 小郷 尚久 (39)	平成24年11月	創薬探索学特論	平成24年3月松野研司講師退職(24) 平成24年11月後任として小郷尚久講師採用(25)
兼任	講師	円谷 由子 (39)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	講師	横山 英志 (36)	平成24年4月	病態分子分析学特論	兼任	講師	井之上浩一 (39)	平成26年4月	病態分子分析学特論	科目担当教員の変更(26)
兼任	助教	高橋 忠伸 (35)	平成24年4月	糖鎖生化学特論	兼任	講師	高橋 忠伸 (35) 後任は26年6月採用予定	平成24年4月	糖鎖生化学特論	平成25年4月昇任(25) 平成25年4月講師に昇格し左准教授の後任に就任(26) ※25年度報告限り後任は26年6月に採用予定(26)
兼任	助教	南 彰 (35)	平成24年4月	糖鎖生化学特論						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	助教	金子 雪子(35)	平成24年4月	分子薬理学特論						
兼任	助教	清水 広介(33)	平成24年4月	薬物送達学特論	兼任	講師	清水 広介(35)	平成26年4月	薬物送達学特論	平成26年4月講師に昇格(26)
兼任	助教	関 俊哲(36)	平成24年4月	病態分子分析学特論						
兼任	助教	髙瀬 清史(28)	平成24年4月	生薬漢方薬学特論			後任未定			平成26年3月髙瀬助教退職。後任は26年度前期に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
兼任	助教	伊藤 由彦(35)	平成24年4月	薬物動態学特論						
兼任	助教	淵 優子(31)	平成24年4月	薬物動態学特論			後任未定			平成24年8月淵優子助教退職(25)後任は26年度前期に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
兼任	助教	岩尾 康範(33)	平成24年4月	薬物放出制御学特論	兼任	講師	岩尾 康範(35)	平成26年4月	薬物放出制御学特論	平成26年4月講師に昇格(26)
兼任	助教	山本 博之(33)	平成24年4月	神経内分泌機能解析学特論	兼任	助教	鈴木 典希(28)	平成26年5月	神経内分泌機能解析学特論	平成26年3月山本助教退職、平成26年5月後任として鈴木助教採用(26)
兼任	助教	黒羽子 幸太(38)	平成24年4月	免疫微生物学特論						
兼任	助教	海野 雄加(34)	平成24年4月	創薬探索学特論						
					兼任	助教	小出 浩之(30)	平成26年1月	薬物送達学特論	平成26年1月指導体制充実のため採用(26)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
12	0	12	12	0	12		
(12)	(0)	(12)	[~ Δ3]	[-]	[~ Δ3]	65歳	0名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教	平川 城太郎	一身上の都合
2	准教授	五十里 彰	一身上の都合
3	准教授	上村 和秀	一身上の都合
4	講師	加藤 安宏	一身上の都合

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつづ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。当該教員においては他大学及び民間企業へ転出するものであるが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。退職に伴う後任は、1名は平成24年4月に採用、1名は学府内の教員昇格で対応、残る2名は26年度前期に採用予定であり、かつ採用までの間は他の教員が担当しており、履修への支障はない。また、学生への周知については、ゼミ所属の学生には教員から直接口頭で説明するとともに、学部ホームページ等に掲載し周知を図っている。

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

5 教員組織の状況

<薬食生命科学総合学府 薬学専攻 (博士課程) 臨床薬学コース>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	賀川 義之 (52)	平成24年4月	先端臨床薬学特論1 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習	専任	教授	賀川 義之 (52)	平成24年4月	先端臨床薬学特論1 先端臨床薬学特論2 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習	担当科目の変更(26)
専任	教授	伊藤 邦彦 (51)	平成24年4月	先端臨床薬学特論1 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習 遺伝学特論						
専任	教授	山田 浩 (55)	平成24年4月	先端臨床薬学特論2 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習						
専任	准教授	宮崎 靖則 (48)	平成24年4月	先端臨床薬学特論1 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習						
専任	講師	内野 智信 (38)	平成24年4月	先端臨床薬学特論1 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験						
専任	講師	林 秀樹 (39)	平成24年4月	先端臨床薬学特論1 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験	専任	助教	平井 啓太 (31)	平成26年5月	先端臨床薬学特論1 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験	平成26年3月林講師退職、平成26年5月後任として平井助教採用(26)
専任	講師	井上 和幸 (39)	平成24年4月	先端臨床薬学特論1 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習						
専任	講師	小菅 和仁 (46)	平成24年4月	先端臨床薬学特論2 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験			後任未定			平成25年7月小菅講師退職。後任は26年度中に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
専任	助教	辻 大樹 (37)	平成24年4月	先端臨床薬学特論1 臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験						
専任	助教	谷澤 康玄 (48)	平成24年4月	臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験						
兼任	教授	奥 直人 (59)	平成24年4月	健康長寿科学特論※						
兼任	教授	野口 博司 (61)	平成24年4月	健康長寿科学特論※						
兼任	教授	森本 遼也 (45)	平成24年4月	臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習						
兼任	教授	菅谷 純子 (61)	平成24年4月	臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習						
兼任	教授	並木 徳之 (56)	平成24年4月	臨床薬学演習 臨床薬学実習 臨床薬学特別実験 臨床薬学特別演習						
兼任	教授	今井 康之 (57)	平成24年4月	健康長寿科学特論※						
兼任	教授	中山 勉 (57)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※	兼任	教授	後任未定 下山田 真 <50>	平成26年4月	食品科学特論Ⅱ※	平成25年3月中山勉教授退職(25) 平成26年4月下山田真教授採用(26)
兼任	教授	熊澤 茂則 (49)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	大橋 典男 (53)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼任	教授	渡辺 達夫 (55)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	丹治 健一 (57)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	小林 裕和 (57)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 遺伝学特論						
兼任	特任教授	飯田 浩 (66)	平成24年4月	遺伝学特論						
兼任	教授	合田 敏尚 (56)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼任	教授	熊谷 裕通 (57)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	大島 寛史 (62)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼任	教授	新井 映子 (56)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	吉村 紀子 (63)	平成24年4月	科学英語海外研修プログラム	兼任	特任教授	吉村 紀子 (65)	平成26年4月	科学英語海外研修プログラム	平成26年3月吉村教授定年退職。平成26年4月から特任教授として採用(26)
					兼任	教授	鈴木 隆 (56)	平成24年4月	健康長寿科学特論※	届出時記載漏れ(24)
兼任	准教授	左 一八 (49)	平成24年4月	健康長寿科学特論※	兼任	講師	後任未定 高橋 忠伸 (37)	平成25年4月	健康長寿科学特論※	平成25年3月左一八准教授退職(25) 平成25年4月同じ研究室の高橋助教が講師に昇格し、後任として就任(26) ※25年度報告漏れ
兼任	准教授	渡辺 賢二 (42)	平成24年4月	健康長寿科学特論※						
兼任	准教授	尾上 誠良 (38)	平成24年4月	健康長寿科学特論※	兼任	教授	尾上 誠良 (40)	平成26年4月	健康長寿科学特論※	平成26年3月に定年退職した同じ研究室の教授の後任として平成26年4月教授に昇格(26)
兼任	准教授	五十里 彰 (40)	平成24年4月	臨床薬学特別実験	兼任	講師	山崎 泰広 (41)	平成26年4月	臨床薬学特別実験	平成25年9月五十里准教授退職。平成26年4月同じ研究室の山崎助教が講師に昇格し、後任として就任(26)
兼任	准教授	川島 博人 (46)	平成24年4月	健康長寿科学特論※			後任未定			平成26年4月川島准教授退職。後任は26年度中に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
兼任	准教授	増田 修一 (43)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	鮎 信学 (36)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	河原崎 泰昌 (42)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	小林 公子 (51)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 遺伝学特論	兼任	教授	小林 公子 (51)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 人類遺伝学特論Ⅱ 遺伝学特論	届出時記載漏れ(24) 平成25年4月1日教授に昇任(25)
兼任	准教授	桑野 稔子 (49)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	市川 陽子 (46)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	新井 英一 (40)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	准教授	栗木 清典 (41)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	特任准教授	ホーク フィリップ (44)	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インディペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	兼任	講師	ホーク フィリップ (44)	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インディペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	平成24年4月 特任准教授から講師として採用(24) 担当科目の名称変更、教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
兼任	講師	石井 康子 (58)	平成24年4月	臨床薬学特別実験						
兼任	講師	内田 信也 (43)	平成24年4月	臨床薬学特別実験	兼任	准教授	内田 信也 (43)	平成24年4月	臨床薬学特別実験	平成23年10月昇任(24)
兼任	助教	田中 紫葉子 (27)	平成24年4月	臨床薬学特別実験						
兼任	講師	加藤 安宏 (40)	平成24年4月	臨床薬学特別実験			後任は26年8月採用予定			平成25年9月加藤講師退職。後任は26年8月採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
兼任	講師	円谷 由子 (39)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
10	0	10	10	0	10		
(10)	(0)	(10)	[~ Δ1]	[-]	[~ Δ1]	65歳	0名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	小菅 和仁	一身上の都合
2	講師	林 秀樹	一身上の都合
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつつ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。当該教員においては医療機関及び他大学へ転出するものであるが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。退職に伴う後任は、1名は新規採用済み、残る1名も26年度中に採用予定であり、かつ採用までの間は他の教員が担当しており、履修への支障はない。

また、学生への周知については、ゼミ所属の学生には教員から直接口頭で説明するとともに、学部ホームページ等に掲載し周知を図っている。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

5 教員組織の状況

<薬食生命科学総合学 薬科学専攻 (博士後期課程)>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	赤井 周司 (52)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	教授	濱島 義隆 (37)	平成25年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成25年3月赤井周司教授退職 学府内別研究室の濱島准教授が平成25年4月後任として就任(25)
専任	教授	浅井 章良 (48)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	教授	石川 智久 (51)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	教授	板井 茂 (59)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	教授	菅 敏幸 (48)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	教授	豊岡 利正 (60)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	教授	眞鍋 敬 (46)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
					専任	教授	橋本 博 (41)	平成25年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成24年3月に定年退職した教授の後任として平成25年4月採用(25)
					専任	教授	吉成 浩一 (43)	平成26年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成26年3月に定年退職した教授の後任として平成26年4月採用(26)
専任	准教授	石川 吉伸 (44)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	海野 けい子 (58)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	齋藤 真也 (46)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	澤田 潤一 (42)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	高木 邦明 (55)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験			後任未定			平成25年9月高木准教授退職。後任の採用計画は未定だが、担当科目は平成26年4月に採用された同じ研究室の吉成教授等が担当するため支障なし(26)
専任	准教授	武田 厚司 (56)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	教授	武田 厚司 (56)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成24年4月昇任(24)
専任	准教授	轟木 堅一郎 (38)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	根本 清光 (53)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	野口 修治 (45)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	准教授	濱島 義隆 (37)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	准教授	後任未定 江木 正浩 (42)	平成25年10月	先端薬科学特別演習・実験	平成25年4月学府内別研究室の教授に就任(25) 平成25年10月、学府内別研究室の江木講師が後任として就任(26)
専任	講師	井口 和明 (55)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	講師	石田 均司 (62)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	講師	岩本 憲人 (49)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	講師	江木 正浩 (40)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	助教	川戸 勇二 (29)	平成26年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成25年10月、江木講師 学府内別研究室の准教授 に就任。平成26年4月、川 戸助教が後任として就任 (26)
専任	講師	小原 一男 (61)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	講師	鈴木 由美子 (44)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	助教	後任は24年6 月採用予定 山口 深雪 (32)	平成24年6月	先端薬科学特別演習・実験	平成24年3月 鈴木由美子講師 退職(24) 平成24年6月後任として山 口深雪助教採用(25)
専任	講師	関本 征史 (40)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	講師	松野 研司 (44)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	講師	後任未定 小郷 尚久 (39)	平成24年11月	先端薬科学特別演習・実験	平成24年3月松野研司講師 退職(24) 平成24年11月後任として 小郷尚久講師採用(25)
専任	講師	横山 英志 (36)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
					専任	講師	井之上浩一 (37)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成24年4月指導体制充実 のため採用(24)
専任	助教	浅川 倫宏 (32)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	助教	井川 貴詞 (34)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	助教	江上 寛通 (32)	平成25年10月	先端薬科学特別演習・実験	平成25年6月井川助教退 職、平成25年10月後任と して江上助教採用(26)
専任	助教	岩尾 康範 (33)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	講師	岩尾 康範 (35)	平成26年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成26年4月講師に昇格 (26)
専任	助教	海野 雄加 (34)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	助教	金子 雷子 (35)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	助教	小西 英之 (32)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	助教	岡 俊哲 (36)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
専任	助教	山本 博之 (33)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	助教	鈴木 英希 (28)	平成26年5月	先端薬科学特別演習・実験	平成26年3月山本助教退 職、平成26年5月後任とし て鈴木助教採用(26)
専任	特任 助教	石内勘一郎 (32)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	専任	助教	稲井 誠 (30)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成23年9月指導体制充実 のため稲井助教採用、そ れに伴い石内特任助教を 専任教員から除外(24)
					専任	助教	原 幸大 (32)	平成26年1月	先端薬科学特別演習・実験	平成26年1月指導体制充実 のため採用(26)
兼任	教授	新井 映子 (56)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	伊藤 邦彦 (51)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験 遺伝学特論						
兼任	教授	今井 康之 (57)	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験						
兼任	教授	大島 寛史 (62)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼任	教授	大橋 典男 (53)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼任	教授	奥 直人 (59)	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験						
兼任	教授	賀川 義之 (52)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼任	教授	熊谷 裕通 (57)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	熊澤 茂則 (49)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	教授	合田 敏尚 (56)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※						
兼担	教授	小林 裕和 (57)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※ 健康長寿科学特論※ 遺伝学特論						
兼担	教授	菅谷 純子 (61)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	鈴木 隆 (55)	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	丹治 健一 (57)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	教授	中山 勉 (57)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※	兼担	教授	後任未定 下山田 真 (50)	平成26年4月	食品科学特論Ⅱ※	平成25年3月中山勉教授退職(25) 平成26年4月下山田真教授採用(26)
兼担	教授	並木 徳之 (56)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	野口 博司 (61)	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	森本 達也 (45)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	山田 浩 (55)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼担	教授	吉村 紀子 (63)	平成24年4月	科学英語海外研修プログラム	兼担	特任教授	吉村 紀子 (65)	平成26年4月	科学英語海外研修プログラム	平成26年3月吉村教授定年退職。平成26年4月から特任教授として採用(26)
兼担	教授	渡辺 達夫 (55)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	新井 英一 (40)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	五十里 彰 (40)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	兼担	講師	山崎 泰広 (41)	平成26年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成25年9月五十里准教授退職。平成26年4月同じ研究室の山崎助教が講師に昇格し、後任として就任(26)
兼担	准教授	市川 陽子 (46)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	上村 和秀 (41)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験			後任未定			平成26年3月上村教授退職。後任は26年度前期に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
兼担	准教授	尾上 誠良 (38)	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験	兼担	教授	尾上 誠良 (40)	平成26年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験	平成26年3月に定年退職した同じ研究室の教授の後任として平成26年4月教授に昇格(26)
兼担	准教授	川島 博人 (46)	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験			後任未定			平成26年4月川島准教授退職。後任は26年度中に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
兼担	准教授	河原崎 泰昌 (42)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	栗木 清典 (41)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	桑野 稔子 (49)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼担	准教授	小林 公子 (51)	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 食品科学特論Ⅱ※ 人類遺伝学特論Ⅱ 遺伝学特論	兼担	教授	小林 公子 (51)	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 食品科学特論Ⅱ※ 人類遺伝学特論Ⅱ 遺伝学特論	届出時記載漏れ(24) 平成25年4月1日教授に昇任(25)
兼担	准教授	左 一八 (49)	平成24年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験	兼担	講師	後任未定 高橋 忠伸 (37)	平成25年4月	健康長寿科学特論※ 先端薬科学特別演習・実験	平成25年3月左一八准教授退職(25) 平成25年4月同じ研究室の高橋助教が講師に昇格し、後任として就任(26) ※25年度報告漏れ
兼担	准教授	蛸 信学 (36)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	増田 修一(43)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	宮崎 靖則(48)	平成24年4月	医療薬学特別実験 医療薬学特別演習	兼任	准教授	宮崎 靖則(48)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	届出時の誤記(24)
兼任	准教授	渡辺 賢二(42)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験 健康長寿科学特論※						
兼任	特任教授	飯田 浩(68)	平成24年4月	遺伝学特論						
兼任	特任准教授	ホークフィリップ(44)	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	専任	講師	ホークフィリップ(44)	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII 科学英語：学生論文エディティング	平成24年4月 特任准教授から講師として採用(24) 担当科目の名称変更、教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
兼任	講師	浅井 知浩(37)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	兼任	准教授	浅井 知浩(37)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成25年4月昇任(25)
兼任	講師	石井 康子(58)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼任	講師	井上 和幸(39)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼任	講師	内田 信也(43)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	兼任	准教授	内田 信也(43)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成23年10月昇任(24)
兼任	講師	内野 智信(38)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼任	講師	梅原 薫(50)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼任	講師	加藤 安宏(40)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験			後任は26年8月採用予定			平成25年9月加藤講師退職。後任は26年8月採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
兼任	講師	小菅 和仁(46)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験			後任未定			平成25年7月小菅講師退職。後任は26年度中に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
兼任	講師	円谷 由子(39)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	講師	林 秀樹(39)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	兼任	助教	平井 啓太(31)	平成26年5月	先端薬科学特別演習・実験	平成26年3月林講師退職、平成26年5月後任として平井助教採用(26)
兼任	講師	三宅 正紀(45)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼任	助教	伊藤 白彦(35)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼任	助教	刀坂 泰史(31)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼任	助教	黒羽子 孝太(38)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼任	助教	清水 広介(33)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	兼任	講師	清水 広介(35)	平成26年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成26年4月講師に昇格(26)
兼任	助教	高橋 忠伸(35)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	兼任	講師	高橋 忠伸(35) 後任は26年6月採用予定	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成25年4月昇任(25) 平成25年4月講師に昇格し 准教授の後任に就任(26) ※25年度報告限り 後任は26年6月に採用予定(26)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	助教	田中 紫菜子 (27)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼任	助教	瀧 優子 (31)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験			後任未定			平成24年6月瀧優子助教退職(25) 後任は26年度前期に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
兼任	助教	辻 大樹 (37)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼任	助教	平川 城太郎 (28)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	兼任	助教	山口 賢彦 (27)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験	平成23年12月平川助教退職 平成24年4月後任として山口助教採用(24)
兼任	助教	雨 影 (35)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼任	助教	谷澤 康玄 (48)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験						
兼任	助教	山崎 泰広 (39)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験			後任未定			平成26年4月、講師に昇格し五十里准教授の後任に就任。後任は26年度中に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
兼任	助教	髙瀬 清史 (28)	平成24年4月	先端薬科学特別演習・実験			後任未定			平成26年3月髙瀬助教退職。後任は26年度前期に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
					兼任	助教	小出 浩之 (30)	平成26年1月	先端薬科学特別演習・実験	平成26年1月指導体制充実のため採用(26)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の 定年年齢	定年を延長 している 教員数
35	0	35	34 36-38	1	35 37-39	65	0
(76)	(0)	(76)	[Δ+ +3]	[+1]	[- = +2 +4]	歳	名

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	松野 研司	一身上の都合
2	講師	鈴木 由美子	一身上の都合
3	特任助教	石内 勘一郎	助教新規採用により専任教員から除外
4	教授	赤井 周司	一身上の都合
5	准教授	高木 邦明	一身上の都合
6	助教	井川 貴詞	一身上の都合
7	助教	山本 博之	一身上の都合

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつつ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。当該教員においては他大学へ転出するものであるが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。退職に伴う後任は、5名は採用済、残る1名についても後任を補充する予定であり、かつ採用までの間は他の教員が担当しており、履修への支障はない。

また、石内特任助教については、認可時には完成年度までの採用を前提に専任教員に計上したが、導体制充実のため新たに助教を採用したため、当該助教を専任教員としたもので、同じく履修への支障はない。

また、学生への周知については、ゼミ所属の学生には教員から直接口頭で説明するとともに、学部ホームページ等に掲載し周知を図っている。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	ナカヤマ ケイ 中山 勉 <57>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	専	教授	後任未定 下山田 真 <50>	平成26年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	平成25年3月31日中山勉教授退職。今年度中に後任を採用予定。(25)平成26年4月1日下山田真教授採用(26)
専	教授	オノジ ケンイチ 丹治 健一 <57>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	教授	タマガイ ヒロミツ 郡谷 裕通 <57>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	教授	アライ ニイコ 新井 映子 <56>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	専	教授	アライ ニイコ 新井 映子 <55>	平成26年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ 地域食科学	平成26年4月教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
専	教授	ワタナベ タツオ 渡辺 達夫 <55>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	教授	タマガワ レイノリ 熊澤 理則 <49>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	クワノ トシロ 桑野 聡子 <49>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	イナカワ ロクロー 市川 陽子 <46>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	マサダ シュウイチ 増田 修一 <43>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	カワフジキ ケスオキ 河原崎泰昌 <42>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	フジキ ヒロノリ 藤木 博典 <41>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	アライ ヒロユキ 新井 英一 <40>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	准教授	フナ ノブタカ 船橋 信孝 <39>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	講師	フムラキ ロシロ 円谷 由子 <39>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	モリタ アキヒト 守田 昭仁 <36>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	ニシ ケスロ 丹羽 康夫 <48>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	専	助教	ニシ ケスロ 丹羽 康夫 <50>	平成26年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ バイヤー部門から世界へ	平成26年4月教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
専	助教	オオタ トシロウ 太田 敏郎 <46>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	スギキト ナナム 杉本 暁 <44>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	サトウ フトム 佐藤 努 <42>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	専	助教	後任未定 中村 俊之 <32>	平成25年12月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	平成24年3月31日佐藤努助教退職。担当授業科目は三浦進司准教授が担当(24)平成25年12月1日中村俊之助教採用(26)
専	助教	カヤシマ ケスナリ 加賀 泰成 <39>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ			後任未定			平成26年3月31日加賀泰成助教退職。今年度中に後任を採用予定。担当授業科目は他の教員がいるため支障はない(26)

専	助教	モナブリ コズキ 望月 和樹 <39>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	専	助教	後任未定 カンテ コズキ 本間 一江 <30>	平成25年10月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	平成24年3月31日 望月和樹助教退職。 担当授業科目 は林久由講師が担 当(24)平成25年10 月1日本間一江助 教採用(26)
専	助教	イトウ ソクヘイ 伊藤 創平 <36>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	専	准教授	イトウ ソクヘイ 伊藤 創平 <38>	平成24年4 月 平成26年4 月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ バイオーブ同から世界へ	平成24年3月助教 から准教授に昇格 (24)平成26年4月 教育課程の充実を 図るため科目を追加 (26)
専	助教	ロシワ ニワコ 吉川 悠子 <35>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	ミヨシ ノリユキ 三好 規之 <35>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	イシイ タケシ 石井 剛志 <35>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	イノウエ ヒロコ 井上 広子 <33>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	オノ アサミ 佐野 文貴 <32>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	イトウ ケイスケ 伊藤 圭祐 <32>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	シマムラ ニワコ 島村 裕子 <32>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	ニンドウ コオリ 道藤 香 <31>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
専	助教	チカマ マサニ 佐久間理英 <30>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
					専	助教	結谷 幸博 <34>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	24年度報告時記載 漏れ。指導体制充 実のため平成24年 4月採用(24)
					専	助教	イトウ 聖子 <37>	平成24年4 月 平成26年4 月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ 地域食材料	24年度報告時記載 漏れ。指導体制充 実のため平成24年 4月採用(24)平成 26年4月教育課程 の充実を図るため 科目を追加(26)
					専	助教	吉田 卓矢 <39>	平成24年6月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	指導体制充実のた め平成24年6月採 用(25)
					専	助教	金 承崇 (35)	平成25年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	指導体制の充実の ため平成25年4月1 日採用(25)
兼任	教授	イトウ クニヒコ 伊藤 邦彦 <51>	平成24年4月	遺伝学特論						
兼任	教授	イシイ シゲル 板井 茂 <59>	平成24年4月	薬理学特論						
兼任	教授	オオシマ ヒロシ 大島 寛史 <62>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
兼任	教授	コバケン ヒロコ 小林 裕和 <57>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ 遺伝学特論	兼任	教授	コバケン ヒロコ 小林 裕和 <59>	平成24年4 月 平成26年4 月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ 遺伝学特論 バイオーブ同から世界へ	平成26年4月教育 課程の充実を図る ため科目を追加 (26)
兼任	教授	ゴクダ トシナオ 合田 敏尚 <56>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
兼任	教授	オオハシ ノブオ 大橋 良男 <53>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ						
兼任	教授	コシムラ ノブコ 吉村 紀子 <63>	平成24年4月	科学英語海外研修プログラム	兼任	教授 兼任 教授	コシムラ ノブコ 吉村 紀子 <65>	平成26年4月	科学英語海外研修プログラム	平成26年3月31日 吉村紀子教授定年 退職。平成26年4 月から兼任教授と して採用(26)

兼任	特任教授	イイダ シゲル 飯田 浩 <65>	平成24年4月	道徳学特論						
兼任	准教授	ノグチ シュウジ 野口 修治 <45>	平成24年4月	薬理学特論						
兼任	准教授	オノウエ ナトキ 尾上 誠良 <35>	平成24年4月	薬理学特論	兼任	准教授	オノウエ ナトキ 尾上 誠良 <40>	平成26年4月	薬理学特論	平成26年3月に定年退職した同じ研究室の教授の後任として平成26年4月教授に昇格(26)
兼任	准教授	コバヤシ キミコ 小林 公子 <31>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ 遺伝学特論	兼任	教授	コバヤシ キミコ 小林 公子 <32>	平成25年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ 遺伝学特論	平成25年4月1日昇格(25)
兼任	特任准教授	ホーク フィリップ <44>	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションⅠ 科学英語：オーラルコミュニケーションⅡ 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションⅠ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅡ	兼任	特任教授 講師	ホーク フィリップ <46>	平成26年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションⅠ 科学英語：オーラルコミュニケーションⅡ 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションⅠ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅡ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅢ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅣ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅤ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅥ 科学論文エディティング	平成24年4月特任准教授から講師として採用(24) 教育課程の充実を図るため担当科目の名称変更、科目を追加(26)
兼任	助教	イワオ ケスリ 岩尾 康範 <33>	平成24年4月	薬理学特論	兼任	助教 講師	イワオ ケスリ 岩尾 康範 <35>	平成26年4月	薬理学特論	平成26年4月1日助教から講師に昇格(26)
兼任	助教	イトウ ロンヒコ 伊藤 由彦 <35>	平成24年4月	薬理学特論						
兼任	助教	チキ ユウコ 池 優子 <31>	平成24年4月	薬理学特論			後任未定			平成24年8月退職(25) 後任は26年度前期に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(25)
					専	准教授	シラ シンジ 三浦 進可 <46>	平成24年4月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	平成24年3月佐藤 勇助教退職のため平成24年度より担当者の変更(24)
					専	講師 准教授	ナカ けい 林 久由 <36>	平成24年4月 平成25年6月	食品栄養科学特別演習Ⅱ 食品栄養科学特別演習Ⅲ	平成24年3月 望月和樹助教退職のため平成24年度より担当者の変更(24) 平成25年6月講師から准教授に昇格(26)
					兼任	教授	オカムラ ユリキ 岡村 順行 <62>	平成26年4月	養学入門	平成26年4月教育課程の充実のため科目を追加(26)
					兼任	教授	オカムラ マチコ 岡村 邦博 <69>	平成26年4月	イノベーション原理特論	平成26年4月教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
					兼任	教授	オホノ ソウ 小野 聡 <59>	平成26年4月	東南アジア文化論	平成26年4月教育課程の充実を図るため科目を追加(26)

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員相組に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・既に設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
- ・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- ・なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画				変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
31	0	31	0	36	0	36	65	0
(31)	(0)	(31)	(0)	[5]	(0)	[5]	歳	名

- (注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、
「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	中山 勉	一身上の都合
2	助教	萱嶋 泰成	一身上の都合
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつつ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。当該教員においても他大学へ転出するものだが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。本学としては、後任を補充し教育上支障がない体制をとる所存である。

また、学生への対応については、研究室所属の学生には専攻として研究室変更により研究指導体制を保証し、講義の受講生には掲示やWeb上に掲載し周知を図った。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

< 薬食生命科学総合学府 環境科学専攻 (後期課程) >

(1) 担当教員表

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	フカバケン ケイジ 若林 敬二 (63)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	教授	フカバケン ケイジ 若林 敬二 (63)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	教授	クワハワ アツホ 角塚 厚和 (61)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	教授	クワハワ アツホ 角塚 厚和 (61)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	教授	マコト マサヒロ 坂田 昌弘 (58)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	教授	マコト マサヒロ 坂田 昌弘 (58)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	教授	シロイ ココロ 下位 香代子 (58)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	教授	シロイ ココロ 下位 香代子 (58)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	教授	イワノリ ケイタ 岩尾 恵祐 (58)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	教授	イワノリ ケイタ 岩尾 恵祐 (58)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24) 平成25年3月31日岩尾 恵祐教授退職。後任 の採用計画は未定。 授業科目は他の教員 がいるため支障はな い。(25)
専	教授	コバヤシ トオル 小林 亨 (51)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	教授	コバヤシ トオル 小林 亨 (52)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	准教授	アマゴイ タカシ 雨谷 敬史 (48)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	准教授	アマゴイ タカシ 雨谷 敬史 (49)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	准教授	イヅミ ムサシ 伊次 裕子 (46)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	准教授	イヅミ ムサシ 伊次 裕子 (47)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	准教授	タニ アキラ 谷 晃 (46)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	准教授	タニ アキラ 谷 晃 (47)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	准教授	マキノ マサユキ 牧野 正和 (45)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	准教授	マキノ マサユキ 牧野 正和 (46)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	准教授	タニ ユキヲ 谷 幸則 (44)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	准教授	タニ ユキヲ 谷 幸則 (45)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	助教	サイトウ ヒロコ 斎藤 貞江子 (51)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	サイトウ ヒロコ 斎藤 貞江子 (52)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	助教	シオダワ オツシ 塩田 聡志 (49)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	シオダワ オツシ 塩田 聡志 (50)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	助教	ワシナ タカヲ 高杉 力 (48)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	ワシナ タカヲ 高杉 力 (47)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	助教	サイトウ ヒロコ 内藤 博敬 (44)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	サイトウ ヒロコ 内藤 博敬 (45)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	助教	イヅミ タケル 岩村 武 (41)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ			後任未定			平成24年3月31日岩村 武助教退職。担当授 業科目は坂口眞人教 授が担当(24)
専	助教	クワキ マサノブ 寺崎 正紀 (39)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ			後任未定			平成24年4月から科目 名変更(24)平成26年3 月31日寺崎正紀助教 退職。今年度中に後 任を採用予定。授業 科目は他の教員がい るため支障はない。 (26)
専	助教	タカガハ タカヒコ 関川 貴真 (43)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	タカガハ タカヒコ 関川 貴真 (40)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	助教	コサキ レイヂロウ 岩本 晋一郎 (37)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	コサキ レイヂロウ 岩本 晋一郎 (38)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	助教	ササキ ハルヒコ 藤原 啓之 (37)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ			後任未定			平成24年3月31日藤原 啓之助教退職。担当 授業科目は園包一 教授が担当(24)
専	助教	ミヤケ ムツシ 三宅 祐一 (34)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	ミヤケ ムツシ 三宅 祐一 (33)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	助教	シロキ コウスケ 戸数 祐介 (33)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ	専	助教	シロキ コウスケ 戸数 祐介 (32)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)
専	助教	トモエタ タツシ 豊岡 達士 (32)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ			後任未定			平成24年4月から科目 名変更(24)平成26年2 月28日豊岡達士助教 退職。今年度中に後 任を採用予定。授業 科目は他の教員がい るため支障はない。 (26)

専	助教	ミノンブ サトシ 光延 聖 (53)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅱ 環境科学特別演習Ⅲ		専	助教	ミノンブ サトシ 光延 聖 (53)	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年4月から科目 名変更(24)	
							助教	ナカダ ヒロ 保田 倫子 (53)	平成25年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	指導体制充実のため 平成25年4月採用(25)	
兼任	教授	イトウ アキヒロ 伊藤 邦孝 (51)	平成24年4月	通信学特論								
兼任	教授	コバヤシ ヒロユキ 小林 裕和 (57)	平成24年4月	通信学特論								
兼任	教授	ヨシムラ ノブコ 吉村 純子 (53)	平成24年4月	科学英語海外研修プログラム		兼任	教授 特任 教授	ヨシムラ ノブコ 吉村 純子 (53)	平成26年4月	科学英語海外研修プログラム	平成26年3月31日吉村 純子教授定年退職。 平成26年4月から特任 教授として採用 (26)	
兼任	特任 教授	イシダ レンジ 飯田 蓮 (53)	平成24年4月	通信学特論								
兼任	准教授	コバヤシ カミコ 小林 公子 (51)	平成24年4月	通信学特論		兼任	教授	コバヤシ カミコ 小林 公子 (52)	平成25年4月	通信学特論	平成25年4月教授に昇格(25)	
兼任	特任 准教授	ホーク フィリップ (44)	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションⅠ 科学英語：オーラルコミュニケーションⅡ 科学英語：インデペンデント・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションⅠ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅡ		兼任	特任教授 講師	ホーク フィリップ (48)	平成26年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションⅠ 科学英語：オーラルコミュニケーションⅡ 科学英語：インデペンデント・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションⅠ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅡ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅢ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅣ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅤ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅥ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅦ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅧ 科学英語：学生主導型ディスカッションⅧ 科学論文英訳ディッピング	平成24年4月特任准教授 から講師として採用 (24) 教育課程の充実を図 るため担当科目の 名称変更、科目を追加 (26)	
							専	教授	ナカダ ヒロ 坂口 貞人 (54) 後任未定	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年3月岩村武助 教授退職のため平成24 年度より担当者の資 格変更。完成年度以前 に退職予定(24)平成25 年3月坂口貞人教授退 職。後任の採用計画 は未定。授業科目は 他の教員がいるため 支障はない。(25)
							専	教授	ナカダ ヒロ 石川 敬一 (54) 後任未定	平成24年4月	環境科学特別演習Ⅰ 環境科学特別演習Ⅱ	平成24年3月榎原啓之 助教授退職のため平成 24年度より担当者の 資格変更。完成年度以前 に退職予定(24)平成 25年3月岡包章一教授 退職。後任の採用計 画は未定。授業科目 は他の教員がいるた め支障はない。(25)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を行うことは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画				変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
24	0	24	0	20	0	20	65	0
(24)	(0)	(24)	(0)	(△4)	(0)	(△4)	歳	名

- (注) ・ 「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教	岩村 武	一身上の都合
2	助教	榊原 啓之	一身上の都合
3	教授	岩堀 恵祐	一身上の都合
4	助教	豊岡 達志	一身上の都合
5	助教	寺崎 正紀	一身上の都合

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつつ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。当該教員においても他大学へ転出するものだが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。本学としては、後任を補充し教育上支障がない体制をとる所存である。

また、学生への対応については、研究室所属の学生には専攻として研究室変更により研究指導体制を保証し、講義の受講生には掲示やWeb上に掲載し周知を図った。

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<薬食生命科学総合学府 薬食生命科学専攻 (博士後期課程)>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	今井 康之 (57)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 薬食機能開発演習						
専任	教授	奥 直人 (59)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 高齢者疾患予防学演習						
専任	教授	小林 裕和 (57)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 遺伝学特論 食品科学特論Ⅱ※ 薬食機能開発演習						
専任	教授	野口 博司 (61)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 薬食機能開発演習						
専任	教授	大島 寛史 (62)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 栄養科学特論Ⅱ※ 高齢者疾患予防学演習						
専任	教授	鈴木 隆 (56)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 高齢者疾患予防学演習						
専任	教授	合田 敏尚 (56)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 栄養科学特論Ⅱ※ 臨床栄養薬物学演習 臨床栄養エキスパート演習						
専任	教授	大橋 典男 (53)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 食品科学特論Ⅱ※ 高齢者疾患予防学演習						
専任	准教授	小林 公子 (51)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 食品科学特論Ⅱ※ 人類遺伝学特論Ⅱ 遺伝学特論 臨床栄養薬物学演習	専任	教授	小林 公子 (51)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 食品科学特論Ⅱ※ 人類遺伝学特論Ⅱ 遺伝学特論 臨床栄養薬物学演習	届出時記載漏れ(24) 平成25年4月1日 教授に昇任(25)
専任	准教授	左 一八 (49)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 高齢者疾患予防学演習	専任	講師	後任未定 高橋 忠伸 (37)	平成25年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 高齢者疾患予防学演習	平成25年3月左一八准教授退職(25) 平成25年4月同じ研究室の高橋助教が講師に昇格し、後任として就任(26) ※25年度報告漏れ
専任	准教授	川島 博人 (46)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 薬食機能開発演習			後任未定			平成26年4月川島准教授退職。後任は26年度中に採用予定、それまでの間担当科目は他の教員が担当するため支障なし(26)
専任	准教授	尾上 諒良 (38)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 薬剤学特論 臨床栄養薬物学演習	専任	教授	尾上 諒良 (40)	平成26年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 薬剤学特論 臨床栄養薬物学演習	平成26年3月に定年退職した同じ研究室の教授の後任として平成26年4月教授に昇格(26)
専任	准教授	渡辺 賢二 (42)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 健康長寿科学特論※ 薬食機能開発演習						
専任	講師	梅原 薫 (50)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 薬食機能開発演習						
専任	講師	三宅 正紀 (45)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 薬食機能開発演習						
専任	講師	浅井 知浩 (37)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習	専任	准教授	浅井 知浩 (37)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習	平成25年4月昇任(25)
専任	助教	黒羽子 幸太 (38)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 薬食機能開発演習						
専任	助教	南 彰 (35)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	助教	高橋 忠伸 (35)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習	専任	講師	高橋—忠伸 (35) 後任は26年6 月採用予定	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習	平成25年4月昇任(25) 平成25年4月講師に昇格 し准教授の後任に就任 (26) ※25年度報告誤り 後任は26年6月に採用予 定(26)
専任	助教	清水 広介 (33)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習	専任	講師	清水 広介 (35)	平成26年4月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習	平成26年4月講師に昇格 (26)
専任	助教	伊藤 白彦 (35)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 薬剤学特論 臨床栄養薬物学演習						
専任	助教	瀧 優子 (31)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 薬剤学特論 臨床栄養薬物学演習			後任未定			平成24年8月瀧優子助教 退職(25) 後任は26年度前期に採用 予定、それまでの間担当 科目は他の教員が担当す るため支障なし(26)
専任	助教	髙淵 清史 (28)	平成24年4月	薬食生命科学特別実験 食機能開発演習			後任未定			平成26年3月髙淵助教退 職。後任は26年度前期に 採用予定、それまでの間 担当科目は他の教員が担 当するため支障なし(26)
					専任	助教	小出 浩之 (30)	平成26年1月	薬食生命科学特別実験 高齢者疾患予防学演習	平成26年1月指導体制充 突のため採用(26)
兼任	教授	吉村 紀子 (63)	平成24年4月	科学英語海外研修プログラ ム	兼任	特任 教授	吉村 紀子 (65)	平成26年4月	科学英語海外研修プロ グラム	平成26年3月吉村教授定 年退職。平成26年4月か ら特任教授として採用 (26)
兼任	教授	中山 勉 (57)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※	兼任	教授	後任未定 下山田 真 (50)	平成26年4月	食品科学特論Ⅱ※	平成25年3月中山教授 退職(25) 平成26年4月下山田真教 授採用(26)
兼任	教授	豊岡 利正 (60)	平成24年4月	臨床栄養薬物学演習						
兼任	教授	丹治 健一 (57)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	伊藤 邦彦 (51)	平成24年4月	遺伝学特論						
兼任	教授	板井 茂 (59)	平成24年4月	薬剤学特論						
兼任	教授	熊谷 裕通 (57)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	渡辺 達夫 (55)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	熊澤 茂則 (49)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	教授	新井 映子 (56)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	特任教 授	飯田 滋 (68)	平成24年4月	遺伝学特論						
兼任	准教授	武田 厚司 (56)	平成24年4月	高齢者疾患予防学演習	兼任	教授	武田—厚司 (56)—	平成24年4月	高齢者疾患予防学演習	平成24年4月昇任(24) 担当科目の変更(26)
兼任	准教授	桑野 稔子 (49)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	増田 修一 (43)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	野口 修治 (45)	平成24年4月	薬剤学特論						
兼任	准教授	河原崎 泰昌 (42)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	市川 陽子 (46)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	新井 英一 (40)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	餅 信学 (36)	平成24年4月	食品科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	栗木 清典 (41)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	准教授	轟木 堅一郎 (38)	平成24年4月	臨床栄養薬物学演習						
兼任	特任准教授	ホークフィリップ (44)	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	兼任	講師	ホークフィリップ (44)	平成24年4月	科学英語：オーラルコミュニケーションI 科学英語：オーラルコミュニケーションII 科学英語：インデペンデント・リスニング 科学英語：アカデミック・プレゼンテーション 科学英語：アカデミック・ライティング 科学英語：学生主導型ディスカッションI 科学英語：学生主導型ディスカッションII	平成24年4月特任准教授から講師として採用(24) 担当科目の名称変更、教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
兼任	講師	円谷 由子 (39)	平成24年4月	栄養科学特論Ⅱ※						
兼任	助教	岩尾 康範 (33)	平成24年4月	薬剤学特論	兼任	講師	岩尾 康範 (35)	平成26年4月	薬剤学特論	平成26年4月講師に昇格(26)
兼任	助教	内田 信也 (43)	平成24年4月	臨床栄養薬物学演習	兼任	准教授	内田 信也 (43)	平成24年4月	臨床栄養薬物学演習	平成23年10月講師から准教授に昇任(「助教」は誤記)(24)
兼任	助教	関 俊哲 (36)	平成24年4月	臨床栄養薬物学演習						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
23	0	23	23	0	23		
(23)	(0)	(23)	[20]	[-]	[20]	65歳	0名

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	左 一八	一身上の都合
2	助教	瀧 優子	一身上の都合
3	准教授	川島 博人	一身上の都合
4	助教	諷洲 清史	一身上の都合

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学においては、教育・研究に優れた教員を確保することは重要であるが、優れた能力を持つ教員においても常に組織内、或いは組織外においても切磋琢磨しつつ、多様な経歴・経験を積むことが、その能力を高め、かつ日本の教育・研究活動を活性化させることに繋がるものと考えられる。当該教員においては他大学及び民間企業へ転出するものであるが、今後の活躍および教育研究活動の活性化を大いに期待するものである。退職に伴う後任は、1名は学内内の教員昇格で対応済、残る3名についても26年度前期に後任を補充する予定であり、かつ採用までの間は他の教員が担当しており、履修への支障はない。また、学生への周知については、ゼミ所属の学生には教員から直接口頭で説明するとともに、学部ホームページ等に掲載し周知を図っている。

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

留意事項に対する履行状況等

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成24年4月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年4月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

その他全般的事項

7 その他全般的事項

<薬食生命科学総合学府>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学のFD委員会の設置 薬食生命科学総合学府FD委員会を設置 各専攻のFD委員会を設置</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>全学FD委員会に委員3名が参加しているほか、各専攻のFD委員会及び薬食生命科学総合学府FD委員会を適宜開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD活動の年間事業計画など</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケートの実施及び教員へのフィードバック ・ 教員相互の授業参観 ・ 教員相互の勉強会の開催 ・ 全学FD委員会が開催するハラスメント研修会等への参加 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生への授業評価アンケート調査を実施 ・ 教員同士の意見交換等を通じた勉強会の開催 ・ 全学FD委員会が開催するハラスメント研修会等への参加 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生への授業評価アンケート調査は教員全員が1科目以上を実施 ・ 年数回の教員同士の意見交換等を通じた勉強会を開催 ・ 全学FD委員会が開催するハラスメント研修会は複数回開催し、全教員が出席できるよう配慮している。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>授業評価は、全学的に実施されているため、評価項目については全学FD委員会が前年度の実施状況を踏まえ毎年見直しを行っている。薬食生命科学総合学府においては、各専攻単位のFD委員会において、評価結果を授業改善に効果的に反映させる具体的手法について検討し、一歩ずつ前進を図っている。</p>

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

薬食生命科学総合学府は、平成24年4月に設置され平成29年3月に完成を迎える。現時点まで、策定した目的の着実な推進に取り組み計画通りに進行している。本学では、第2期中期計画（平成25年度～平成30年度）に基づき毎年、年度計画を策定し、年度終了後に自己点検・評価を実施し、教育・研究活動の達成管理を行っている。本学府においても、中期計画、年度計画に基づいた自己点検・評価を実施していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・毎年、対象年度の翌年度の8月頃に公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成21年度に大学として評価機関（財団法人大学基準協会）の評価を受診済み

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成26年6月)